



2015年3月期 決算説明会

2015年4月28日
株式会社デンソー

1. 売上は、海外での生産の増加により増収
営業利益は、将来に向けた投資や、
海外の工場立ち上げ費用の増加により、減益

2. 年間配当は、110円(前年比5円増配)

3. 来期は、売上・営業利益ともに増収増益

2015年3月期 連結決算

02 /38

()内は売上高比

【単位：億円】

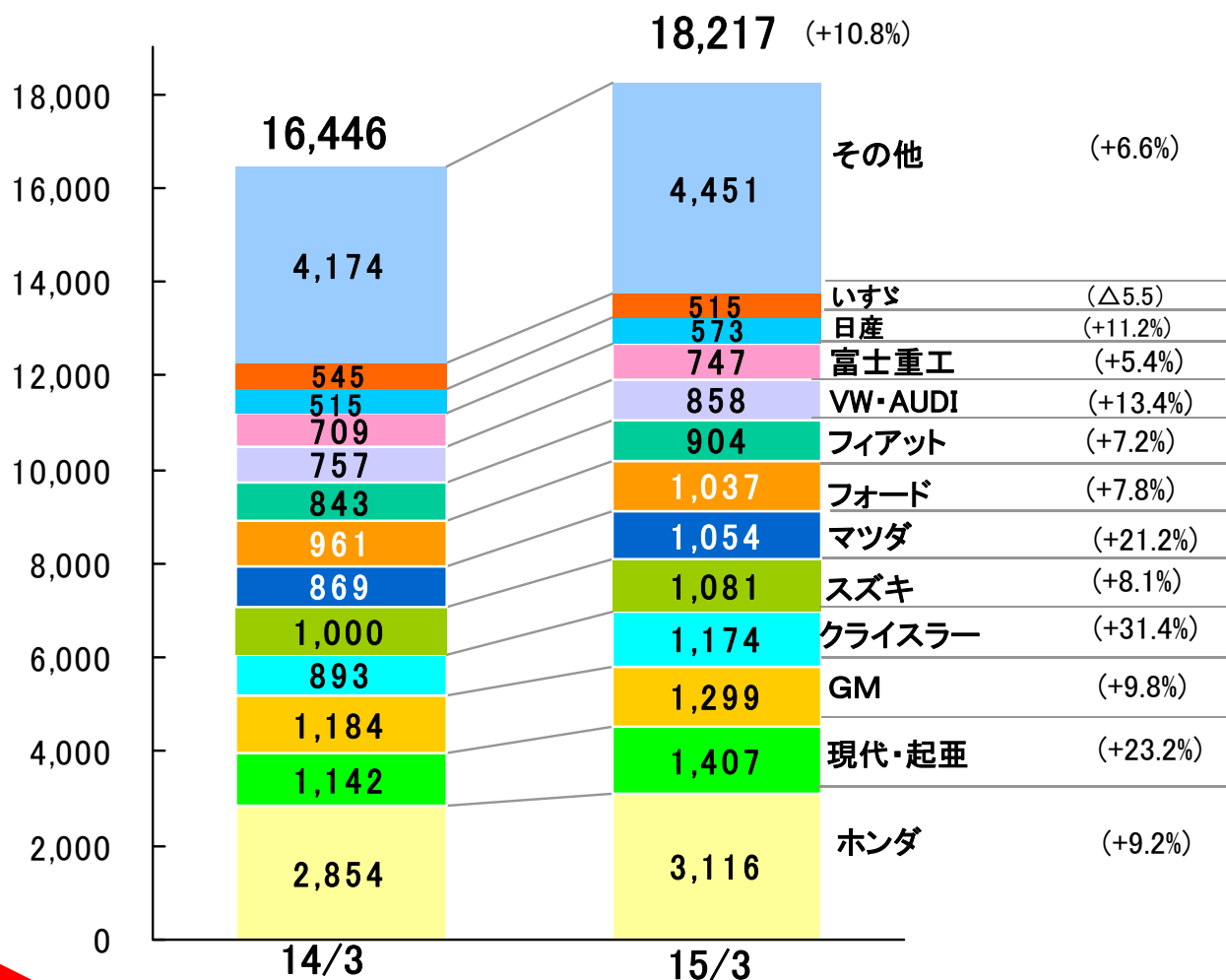
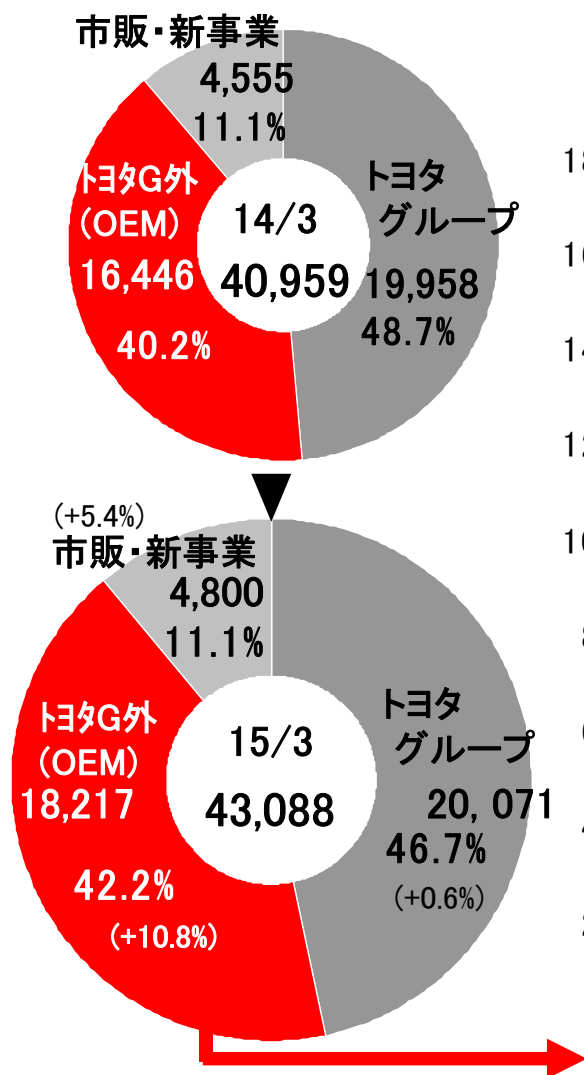
	15/3期実績	14/3期実績	増減額	増減率
売上高	43,088	40,959	+ 2,128	+ 5.2%
営業利益	(8.2%) 3,551	(9.2%) 3,777	△226	△6.0%
経常利益	(9.2%) 3,974	(10.2%) 4,196	△221	△5.3%
税引前利益	(9.9%) 4,272	(10.2%) 4,186	+86	+2.1%
当期純利益	(6.8%) 2,931	(7.0%) 2,874	+57	+2.0%
為替レート	110円/ドル 139円/ユーロ	100円/ドル 134円/ユーロ	10円 円安 5円 円安	
国内車両生産	921万台	949万台	△28万台	△ 3.0%
海外日系車生産 (内、北米)	1,834万台 (600万台)	1,770万台 (543万台)	+ 64万台 (+57万台)	+ 3.6% (+10.5%)

2015年3月期 連結売上高増減要因(得意先別)

【単位:億円】

トヨタグループ外(OEM)

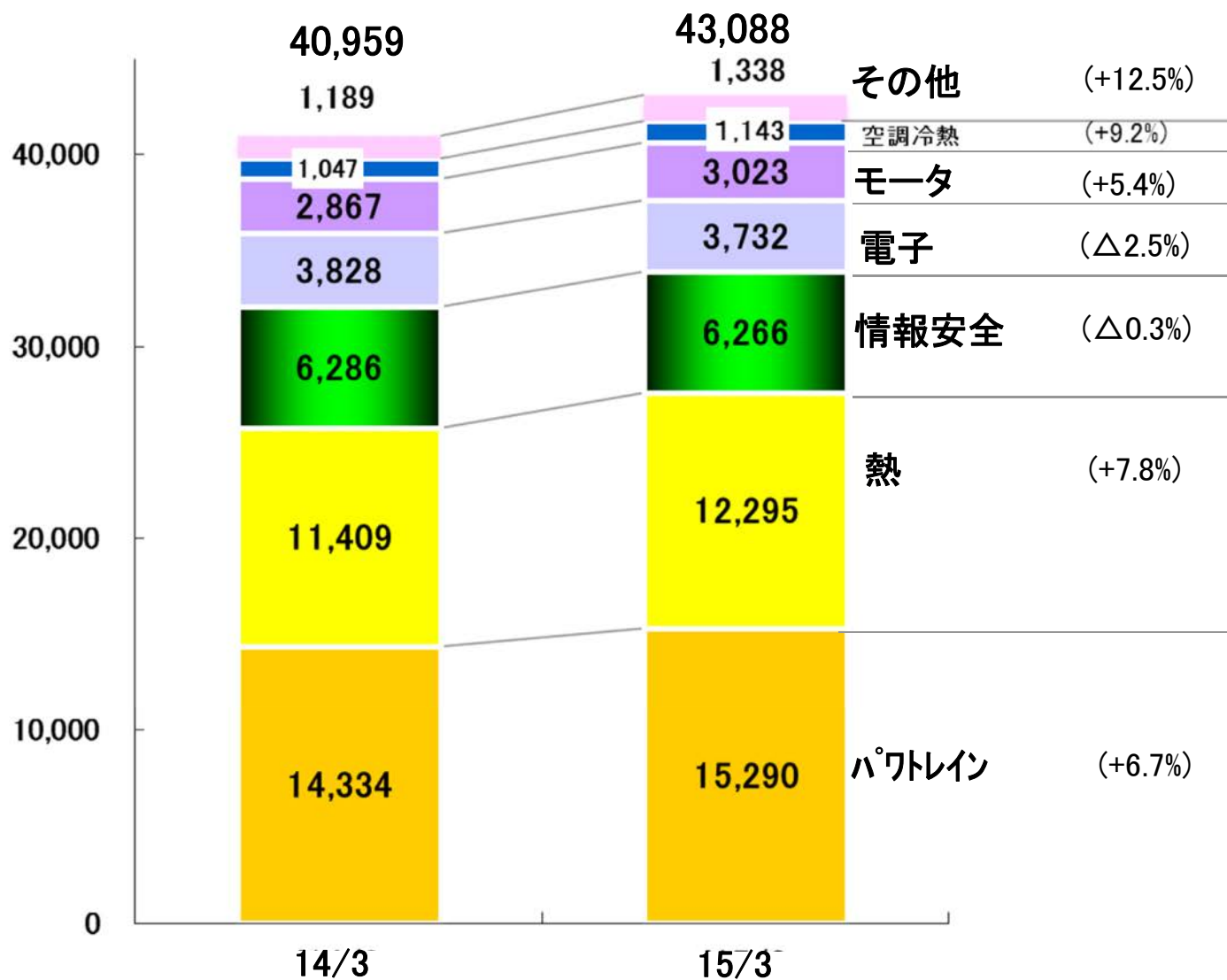
()内は対前年比



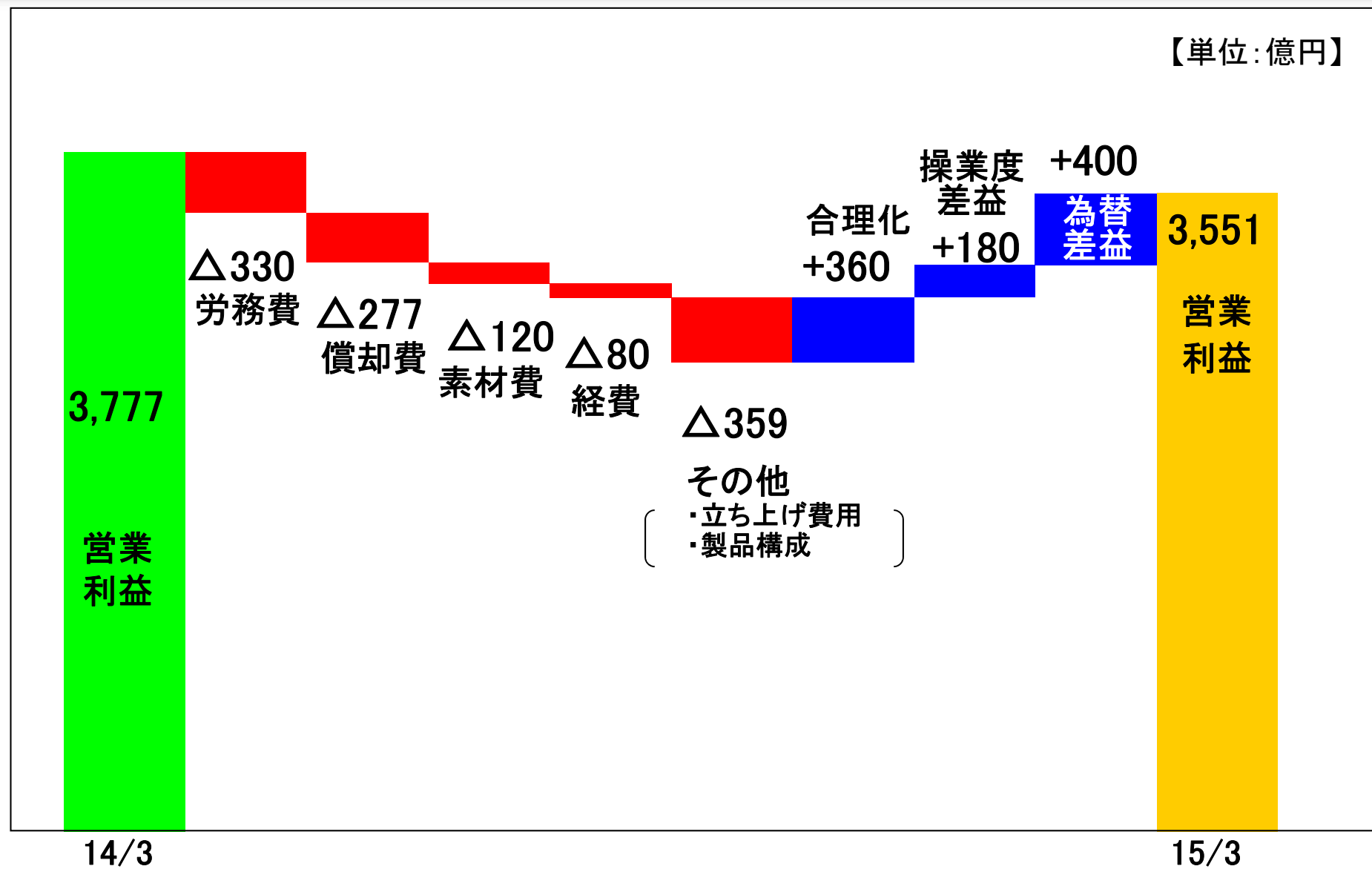
2015年3月期 連結売上高増減要因(製品別)

()内は対前年比

【単位:億円】



2015年3月期 営業利益増減要因(前年比)



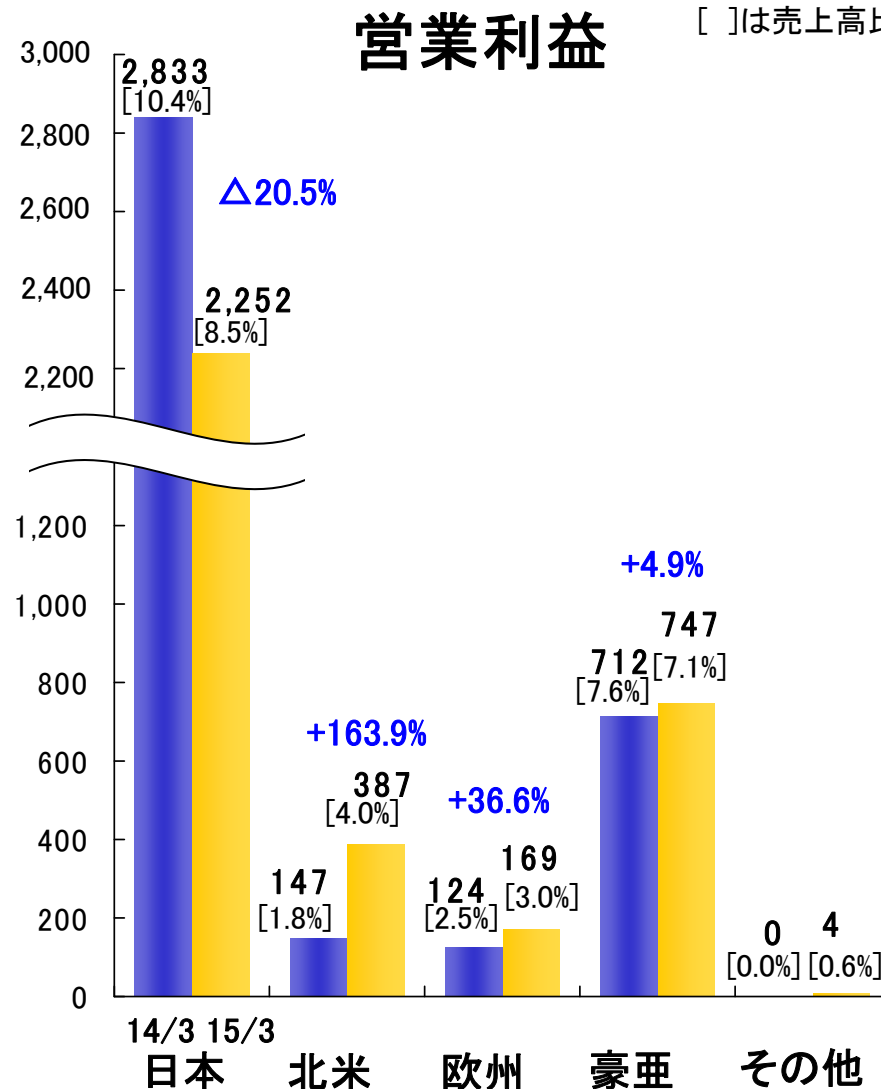
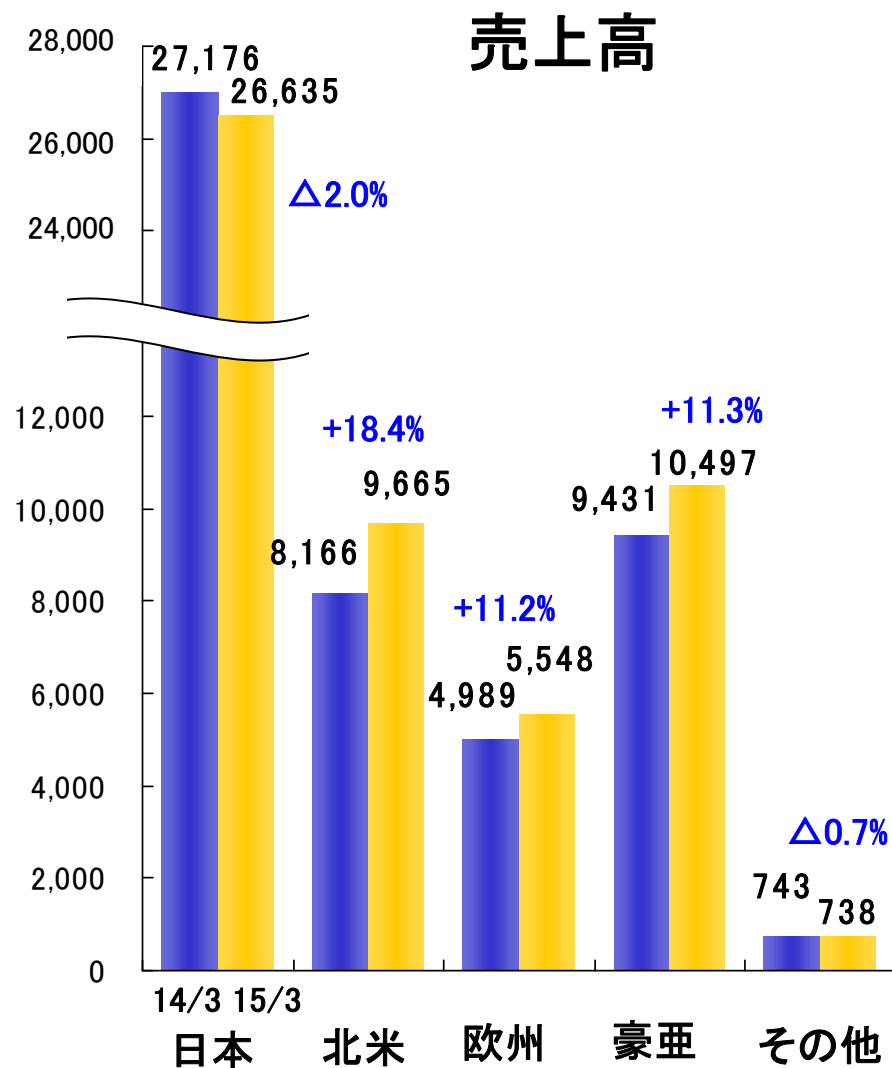
2015年3月期 所在地別セグメント情報(前年比) 【円貨ベース】

06 / 38

円貨ベース

【単位：億円】

[]は売上高比



2015年3月期 所在地別セグメント情報(前年比) 【現地通貨ベース】

07 / 38

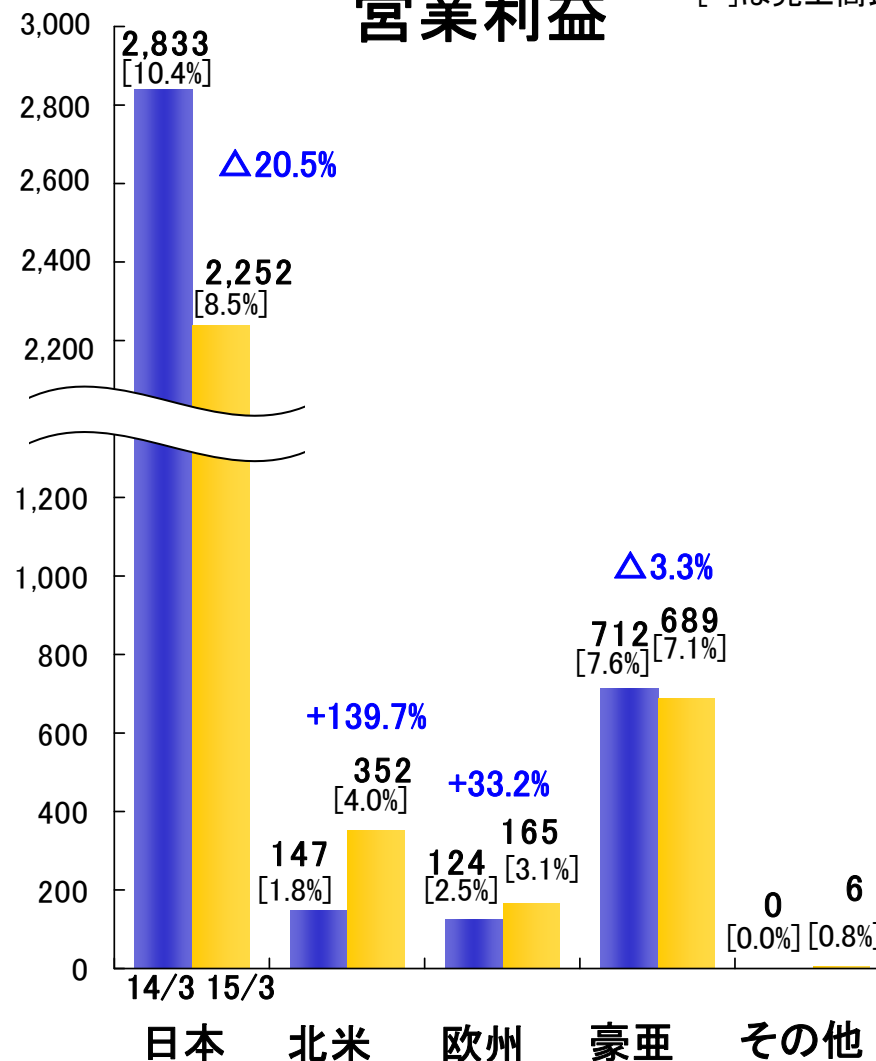
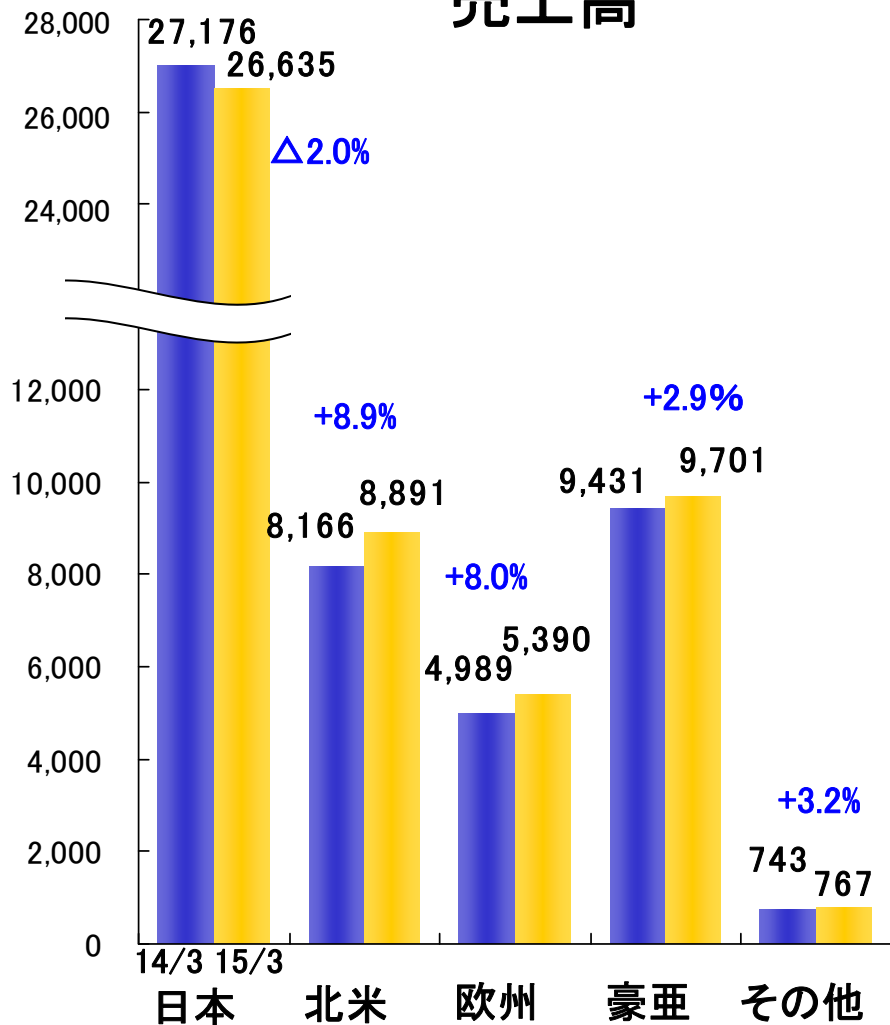
為替の影響を除いた現地通貨ベース

【単位：億円】

[]は売上高比

売上高

営業利益



2016年3月期 通期予想

08 / 38

()は売上高比

【単位:億円】

	16/3期予想 IFRS	15/3期実績 日本基準	増減額	増減率
売上高	44,700	43,088	+1,612	+3.7%
営業利益	(8.5%) 3,800	(8.2%) 3,551	+249	+7.0%
税引前利益	(9.1%) 4,070	(9.9%) 4,272	▲202	▲4.7%
当期純利益	(6.2%) 2,750	(6.8%) 2,931	▲181	▲6.2%
国内車両生産	909万台	921万台	▲12万台	▲1.3%
海外日系車生産 (内、北米)	1,904万台 (637万台)	1,834万台 (600万台)	+70万台 (+37万台)	+3.8% (+6.2%)
為替レート	115円/ドル 125円/ユーロ	110円/ドル 139円/ユーロ	5円円安 14円円高	
1円変動の 利益影響額	25億円/ドル 7億円/ユーロ			

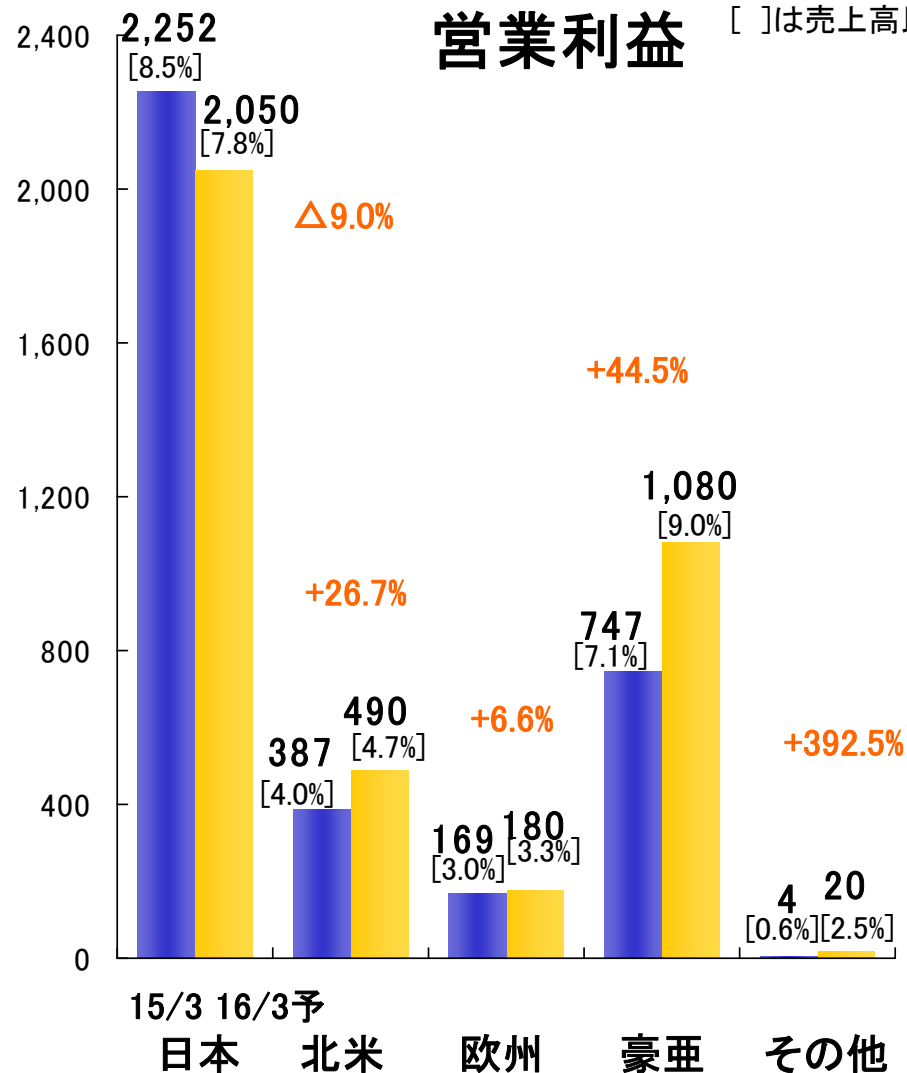
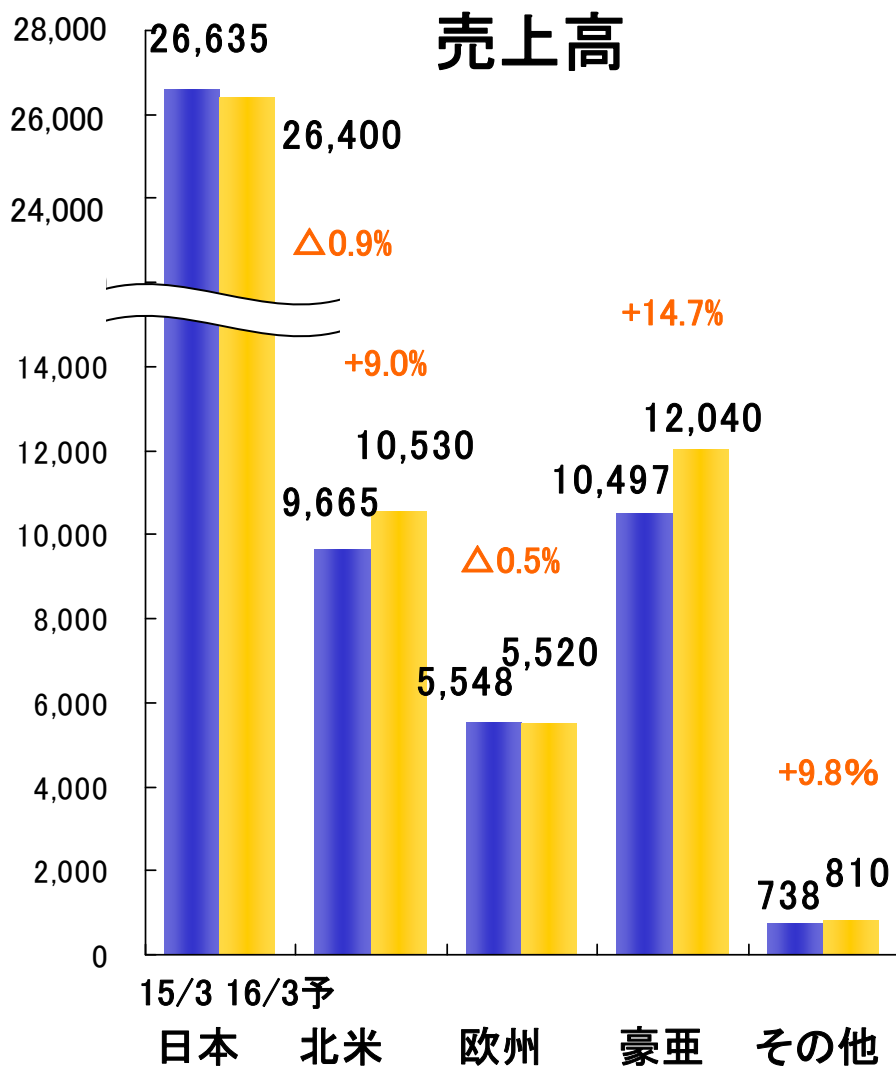
2016年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比) 【円貨ベース】

10 / 38

円貨ベース

【単位：億円】

[]は売上高比



2016年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

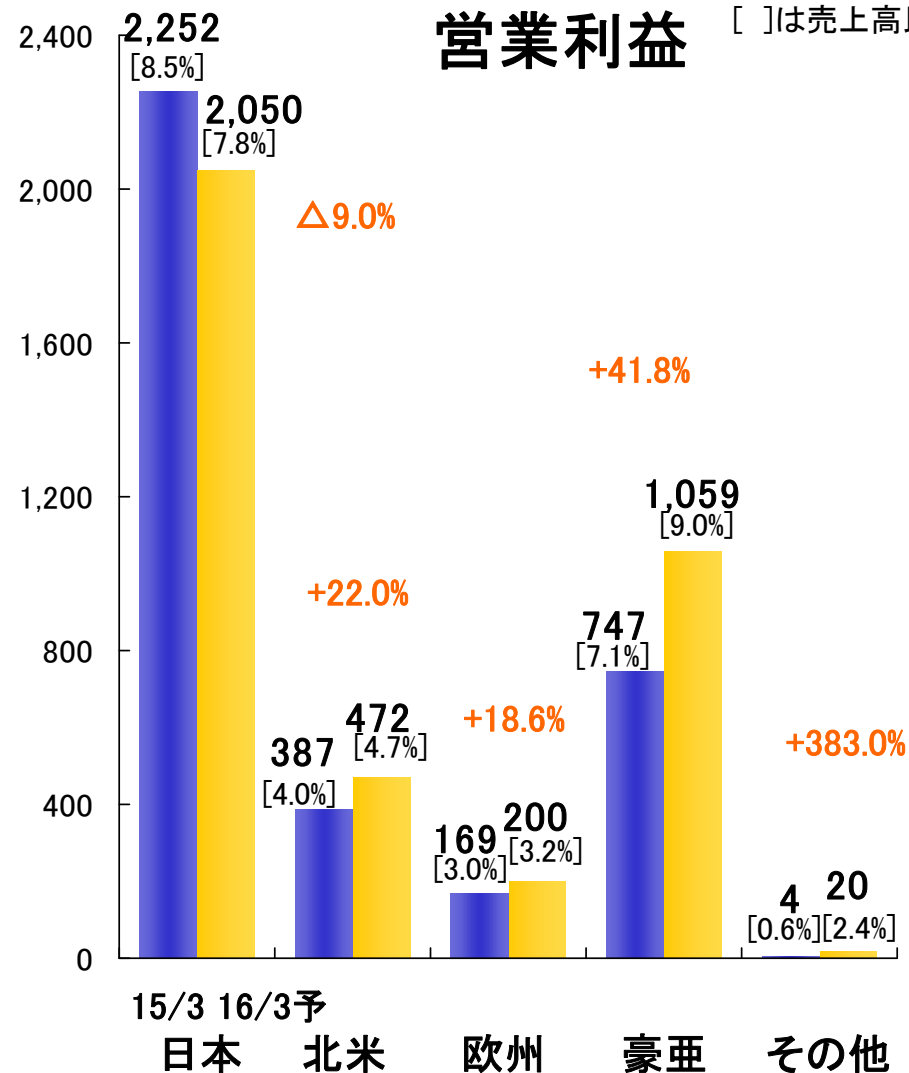
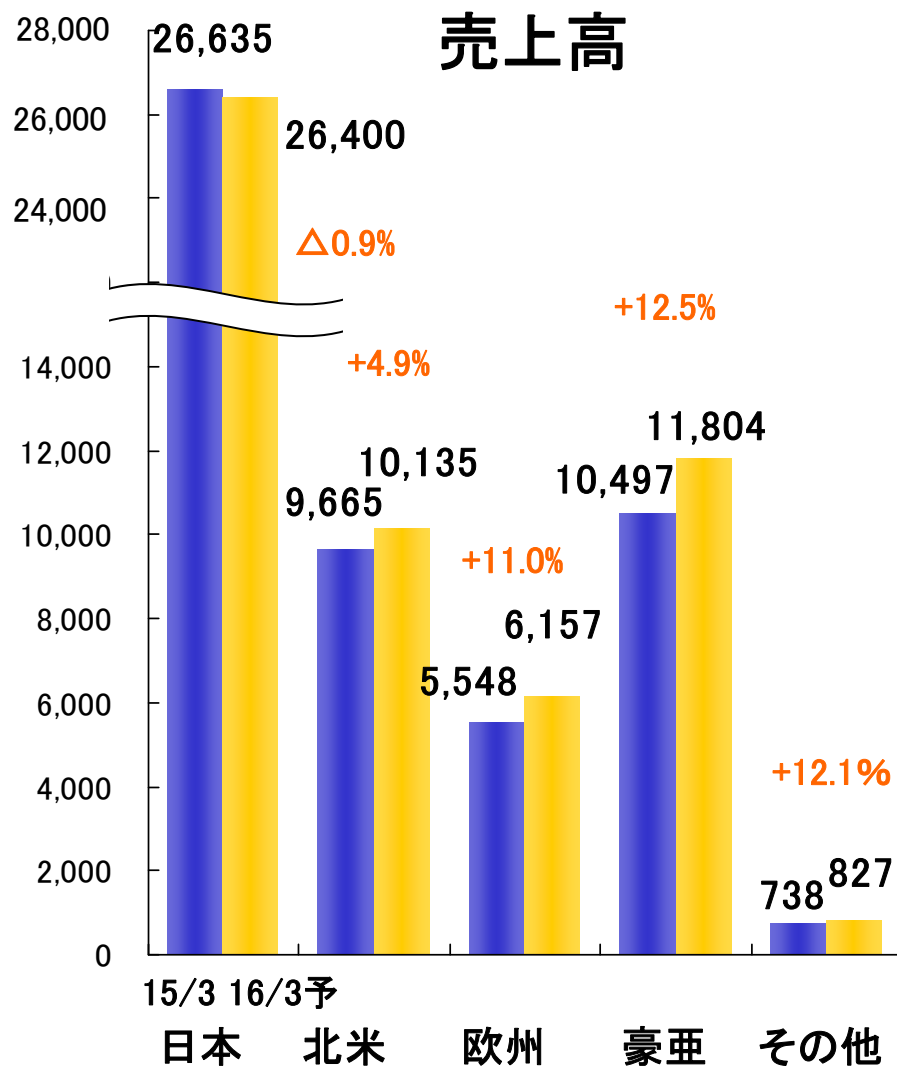
【現地通貨ベース】

11 / 38

為替の影響を除いた現地通貨ベース

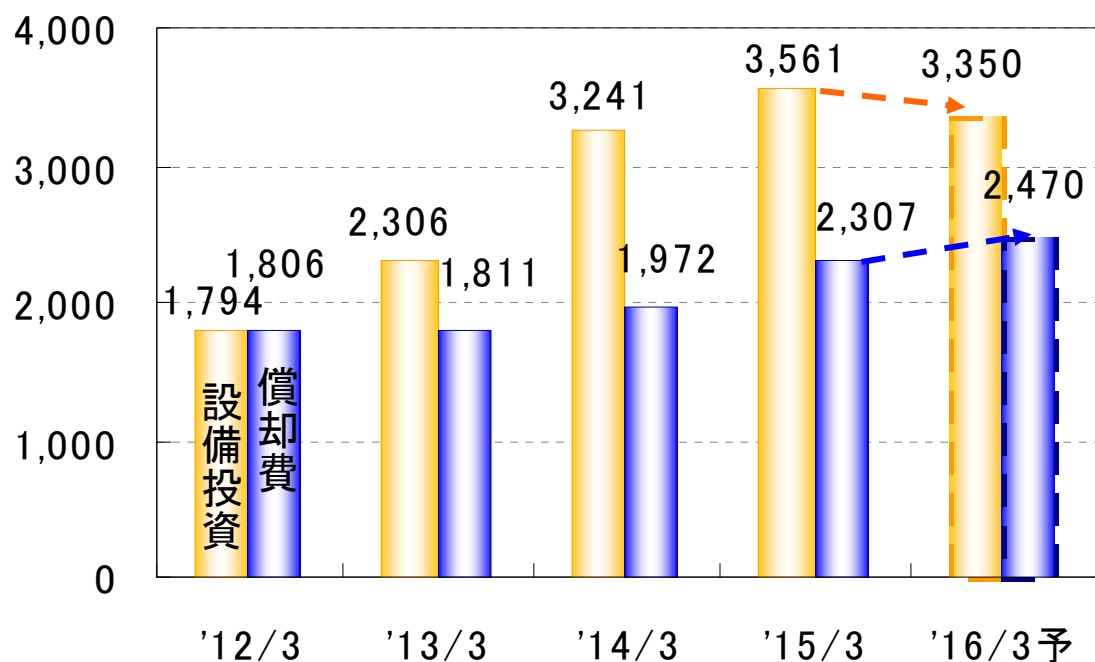
【単位：億円】

[]は売上高比



設備投資・償却費・研究開発費の推移

【単位:億円】



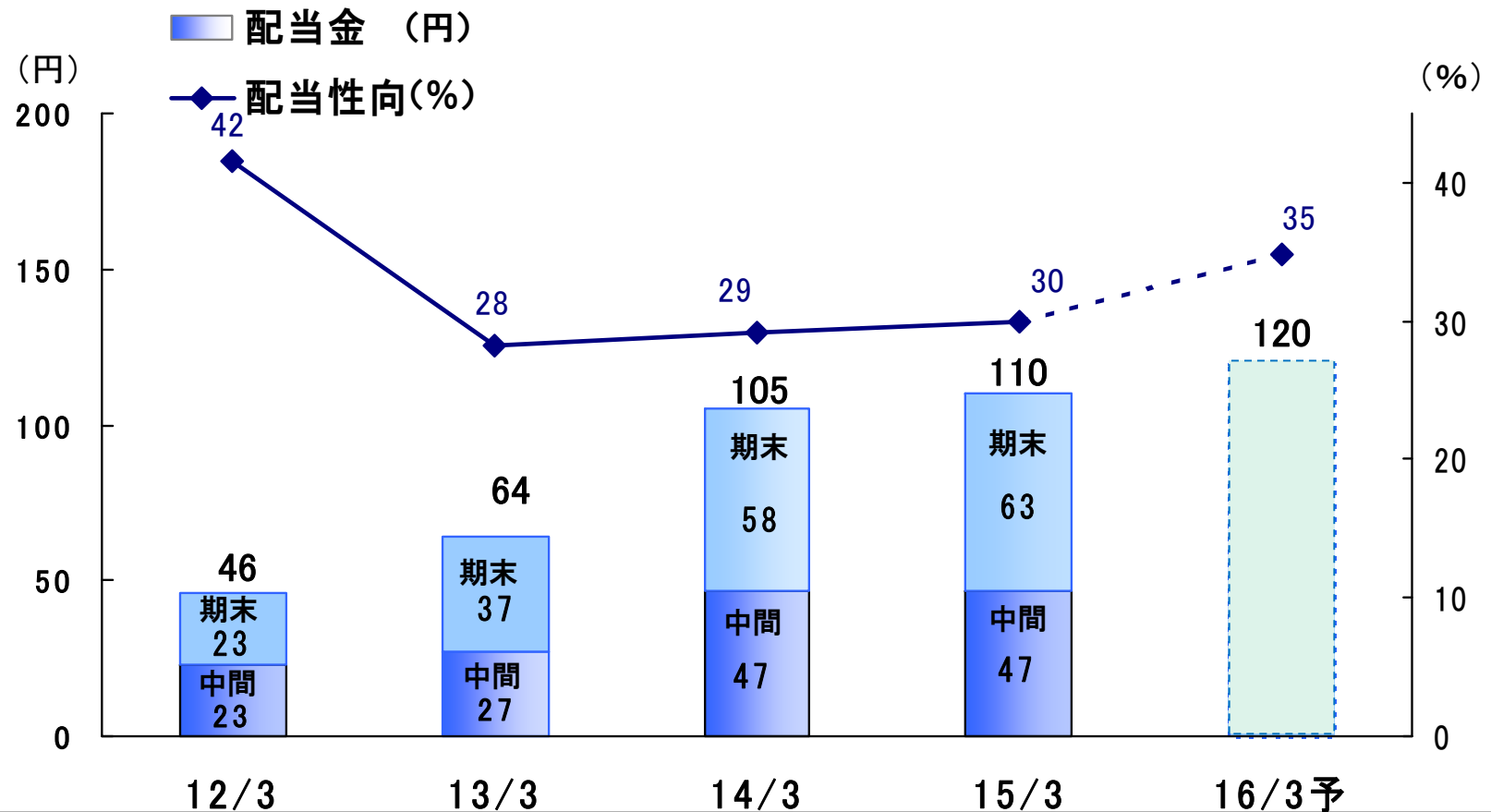
	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期 予想
設備投資	1,794	2,306	3,241	3,561	3,350
償却費	1,806	1,811	1,972	2,307	2,470
研究開発費 (売上高比)	2,984 (9.5)	3,355 (9.4)	3,687 (9.0)	3,964 (9.2)	4,000 (8.9)

株主還元方針

1. 連結業績および配当性向・配当金額等を総合的に
勘案しながら、長期安定的に配当水準を継続的に向上
2. 内部留保については、今後の事業成長を長期的に
維持するための投資(設備、研究開発、M&A等)に
活用するとともに、資金等状況を考慮の上、
自己株式取得にも充当

15/3期： 配当 14/3期より 5 円増配の 110円を予定

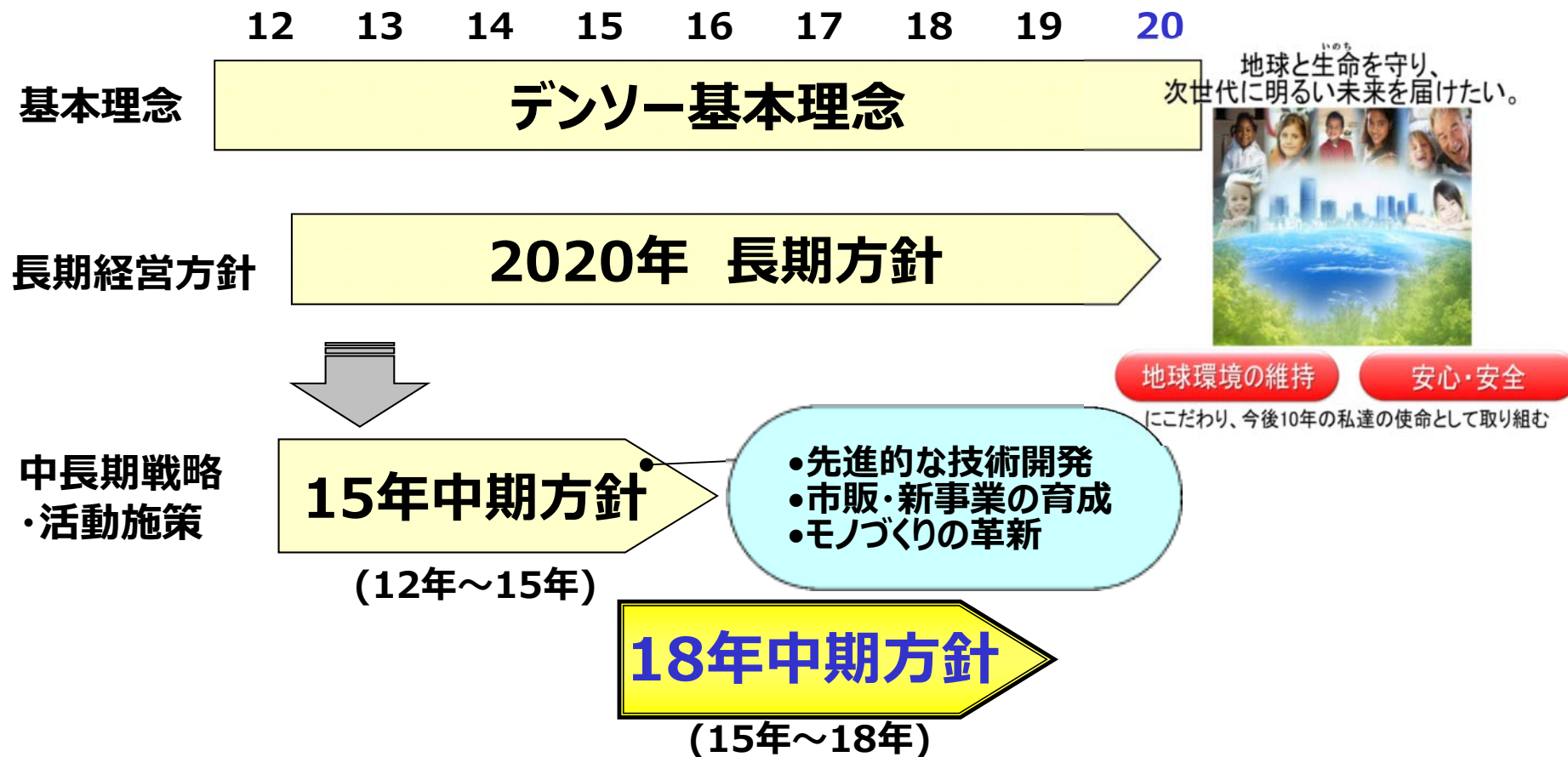
16/3期： 配当 15/3期より 10円増配の 120円を予定
自己株式取得 5百万株・300億円



デンソーグループ18年中期方針について

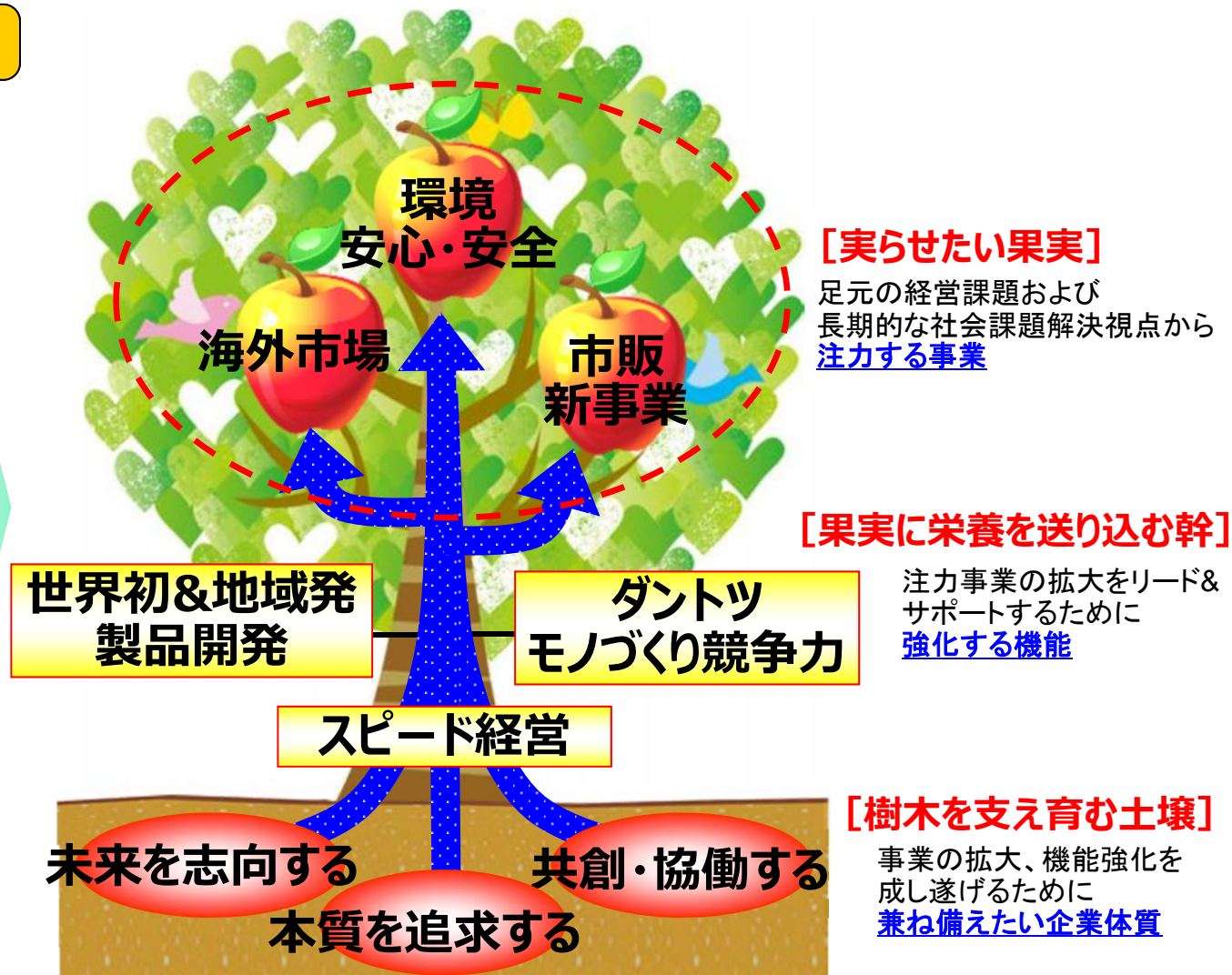
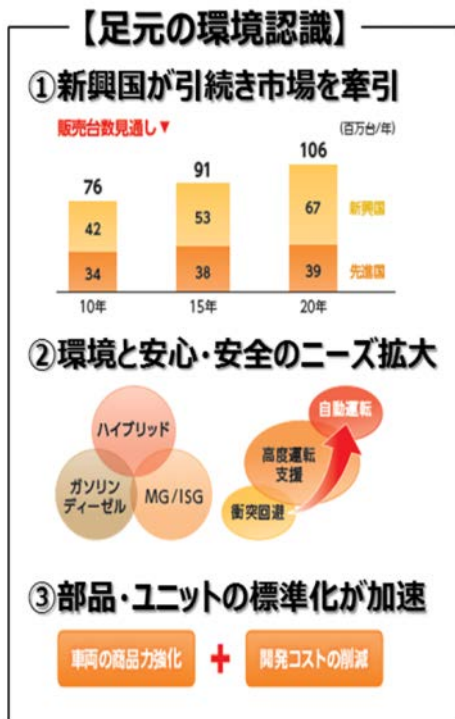
1. 18年中期方針
2. 注力する事業
 - (1) 環境、安心・安全
 - (2) 市販・新事業
 - (3) 海外市場

18年中期方針の位置付け



15年中期方針を継承し、「18年中期方針」を策定

18年の目指す姿



「環境、安心・安全」「市販新事業」「海外市場」に注力

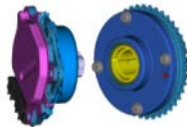
(事例①)内燃機関の効率向上・電動化普及促進

～ マツダSKYACTIVシリーズ ～

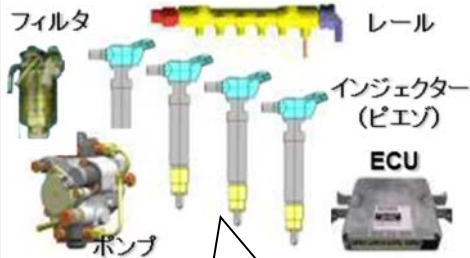
ガソリン直噴システム



電動VCT



ディーゼルコモンレールシステム



ATモジュール



～ ボルボ ディーゼル ～

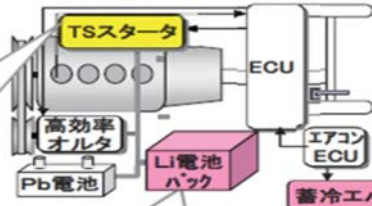
“i-ART”内蔵インジェクタが採用された。内燃機関の効率向上と排ガス低減を両立。

「デミオ」に小型車向けの新型インジェクタが採用された。

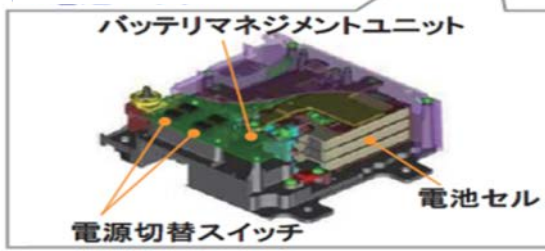


～ アイドル・ストップ・システムの進化 ～

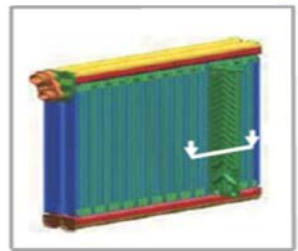
タンデムソレノイドスタータ



Li電池パック



蓄冷エバポレータ



～ ハイブリッド車製品 ～

インバータ

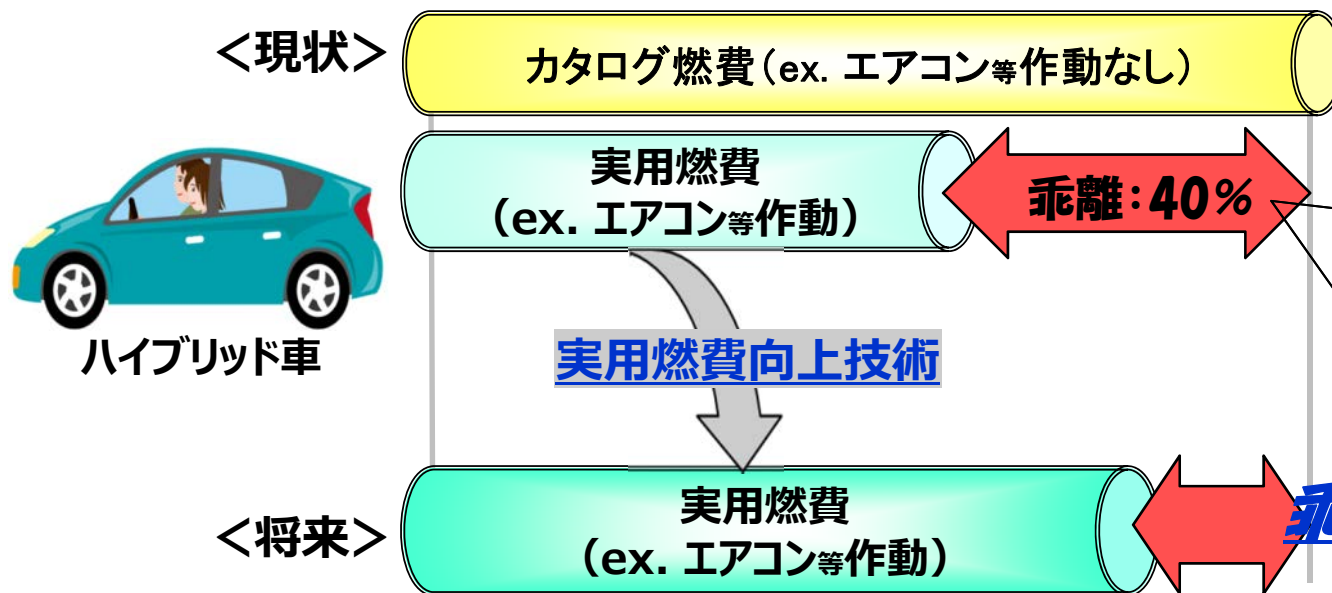


モータジェネレータ



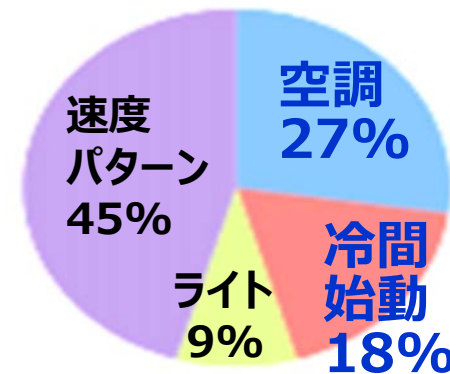
「内燃機関の効率向上・電動化」をさらに加速

(事例②) 実用燃費向上



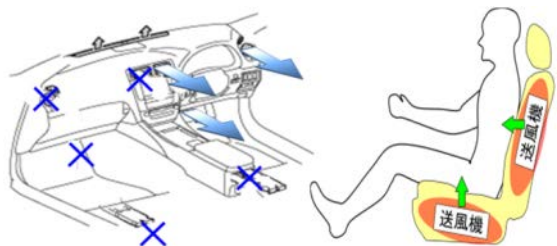
乖離の内訳

出所: 国立環境研究所



空調系 (負荷低減、効率向上)

1席集中、シート空調 等

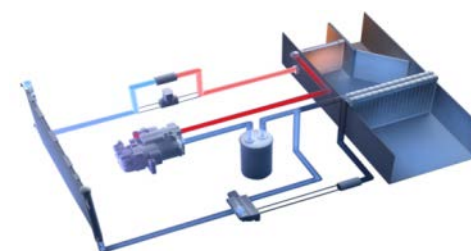


COA-HVAC、エジェクタ 等



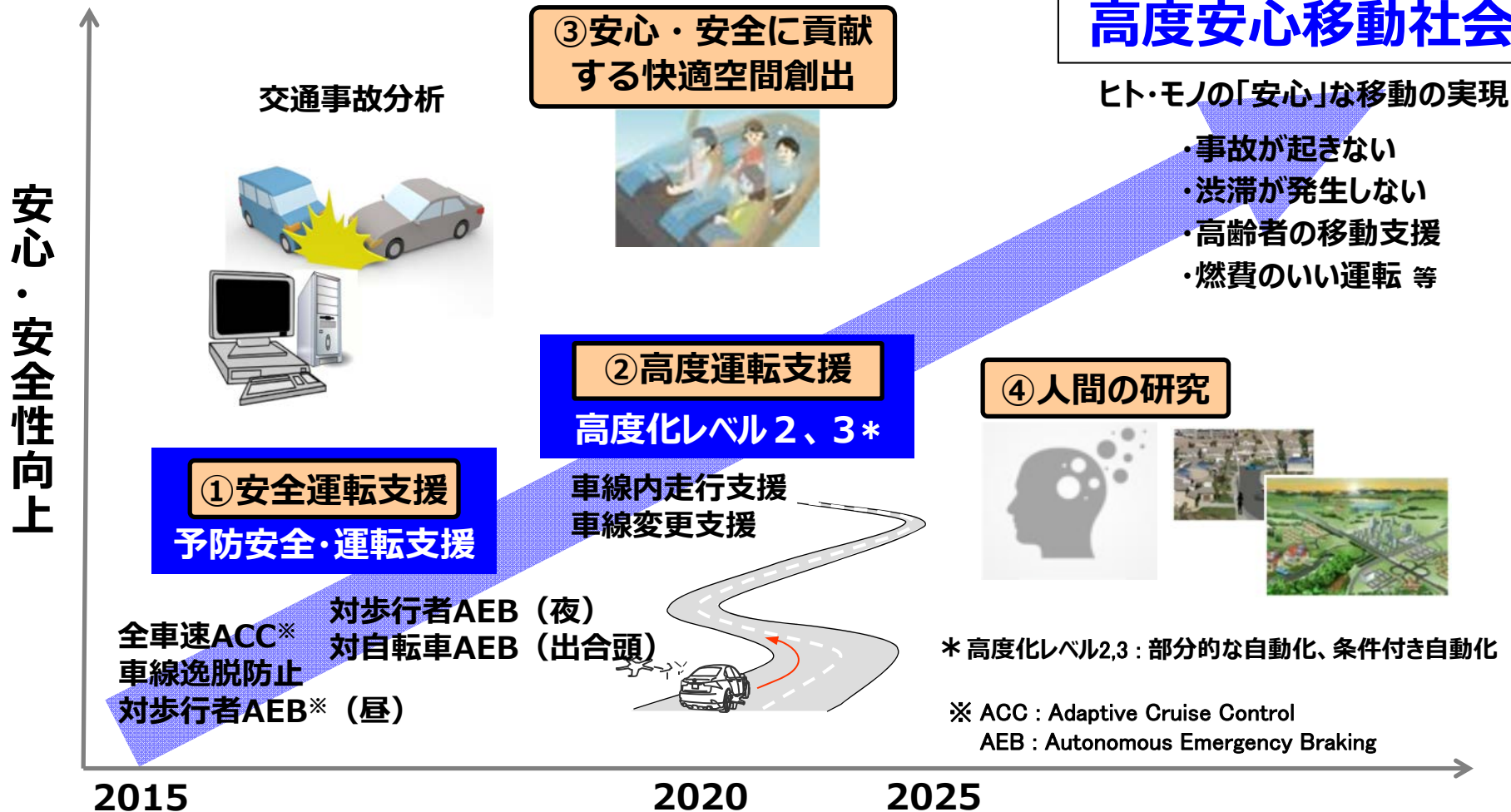
熱回収、暖機促進

ヒートポンプ、蓄熱 等



「実用燃費向上」をさらに加速

安心・安全分野



“高度安心移動社会”を目指し、「交通事故ゼロ」に貢献

2-(1). 注力する事業 —環境、安心・安全—

(事例①)安全運転支援(予防安全・運転支援)

		~14	15	16	17	18	19~
主要国の 安全評価 基準 (NCAP)		対車AEB(追突) LDW		対車AEB(追突)		対歩行者AEB(夜) 対自転車AEB(出合頭) 対車AEB(出合頭、右折)	
		対車AEB(追突) LDW		対歩行者AEB(昼) LKA			
		FCW/LDW		対歩行者AEB(昼) 対車AEB(追突) LDP		対歩行者AEB(夜)	

**デンソー
の
取組み**

ミリ波レーダ

画像センサ

対車FCW/AEB(追突)

LDW/LDP
車線逸脱防止

ACC

オートハイビーム

対歩行者AEB(昼)

LKA(車線内走行)

対歩行者AEB(夜)

対自転車AEB(出合頭)

対車AEB(出合頭)

高度運転支援

車線逸脱防止

車線変更

緊急回避

出合頭衝突防止

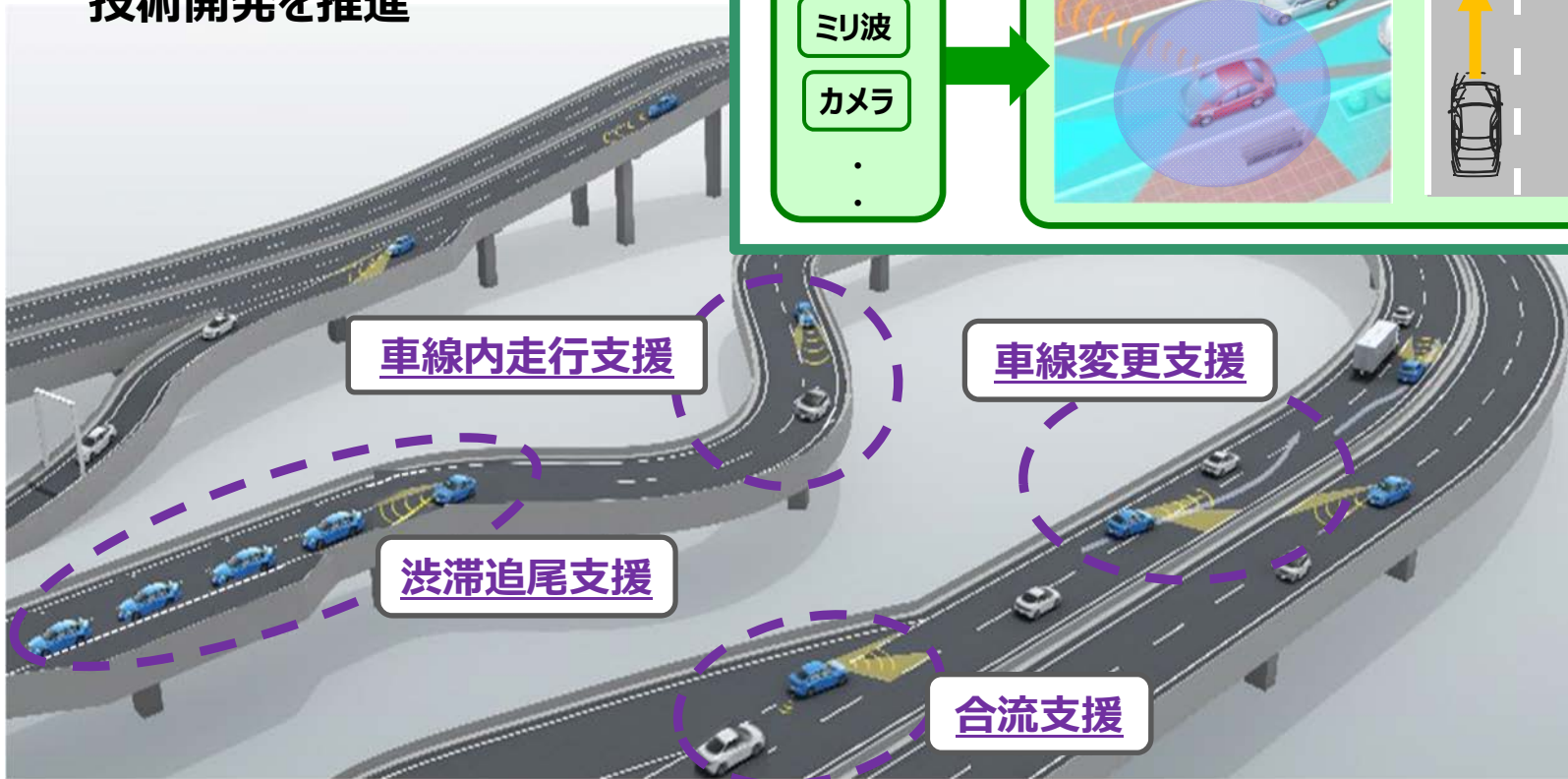
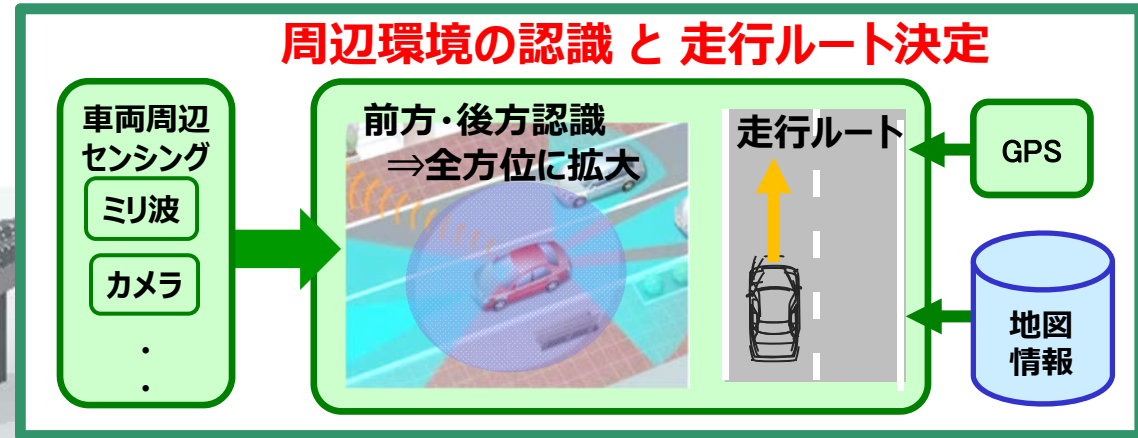
ACC: Adaptive Cruise Control
AEB: Autonomous Emergency Braking
FCW: Forward Collision Warning
LDP: Lane Departure prevention
LDW: Lane Departure Warning
LKA: Lane Keeping Assist
NCAP: New Car Assessment Program

アセスメント実施に先駆けて予防安全技術を量産化
今後、更なる運転支援の高度化に向けた技術開発を加速

(事例②)高度運転支援(高度化レベル2,3)

カギを握る“技術”

◆想定される様々なシーンで
連続的に運転支援できる
技術開発を推進



先進技術を用いて、高度運転支援を実現

(事例③)安心・安全に貢献する快適空間創出

※ HMI : Human Machine Interface

集中支援

居眠り防止

漫然検知

刺激で目が覚める

<実現手段・技術>

①検知

・ドライバーステータスマニター (DSM)
・カメラetc

③注意

・メータ
・ヘッドアップディスプレイ (HUD)

②判断

Control ECU

④刺激

冷風, 香り等

視認支援

視界広々 実用視力向上

目が潤う

見とおしがよい

<実現手段・技術>

湿度コントロール



薄型HVACで
スペース確保
⇒ 安心安全に
貢献

操作支援

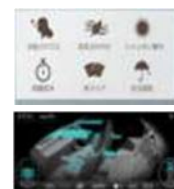
HMI※大型化&かんたん操作

見やすい。簡単

<実現手段・技術>

ワンタッチ
HMI

空調の
見える化



多種多様な
風が見える、
狙える



Comfort Controller

吹出しを一箇所で、直感操作

ドライバーの快適性を高める様々な商品を展開

(事例④)人間の研究

目指す姿：人のように接するHMI、人のように考える知能を実現
⇒医学、心理学にまで踏み込んだ運転に最適な状態を研究

安心感のあるクルマ

- ・意図/感情伝達
- ・自動⇄手動



感情評価、自動運転用HMI

人を見守るクルマ

- ・ドライバーが運転するうえで、適切な状態にあるのか確認



状態検知、居眠り防止技術

また乗りたくなるクルマ

- ・楽しい
- ・爽快、元気になる



五感、脳への刺激

医学・心理学の面から“クルマの安心・安全”を追究

市販・新事業

- ・15年1月にグループ発足(アフターマーケット、空調冷熱、新事業)
- ・各分野での重点事項実施を通じ、事業成長を目指す

事業	実施事項
➤補修品	<ul style="list-style-type: none"> ・新興国への更なる事業拡大 ・品揃え拡充（非DN OE品の追加など） ・グローバルな集中調達によるコスト競争力強化
➤用品	<ul style="list-style-type: none"> ・重点分野(安心/安全、環境、IVI)への注力
➤サービス（事例①）	<ul style="list-style-type: none"> ・市場高度化に対応した診断/修理事業の拡大
➤新事業（事例②）	<ul style="list-style-type: none"> ・ソリューション事業強化に向けた販売体制づくり

社会ニーズ、エンドユーザーニーズの視点で商品・サービスを提供

(事例①)サービス事業の取組み



故障診断から修理、予防整備まで連環した仕組みを構築

(事例②)新事業の取組み

★ **マイクログリッド**
低炭素社会の実現

バイオ(藻)
脱化石燃料

電動アシスト
自由・自在な
ライフスタイル



★ **セキュリティ**
暮らしの安全・安心

★ **ヘルスケア**
QOL向上 & 医療費削減

★ **農業支援システム**

★ **コールドチェーン**
食の安全・安心

★ **情報ソリューション**
人と人を繋ぐコミュニティ

★ : 事業開始

新規 **交通社会インフラ** **交通事故の低減** **止まれ** **光る標識・鋌**

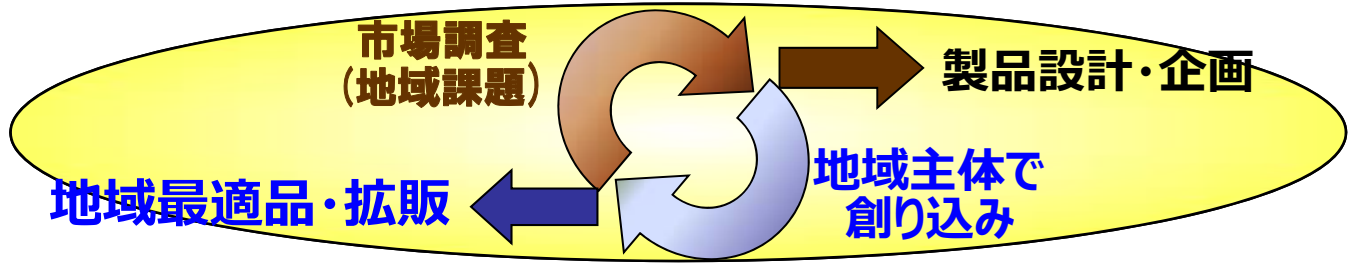
ソリューション事業を強化

2-(3). 注力する事業 — 海外市場 —

地域最適品の提供

グローバル開発体制

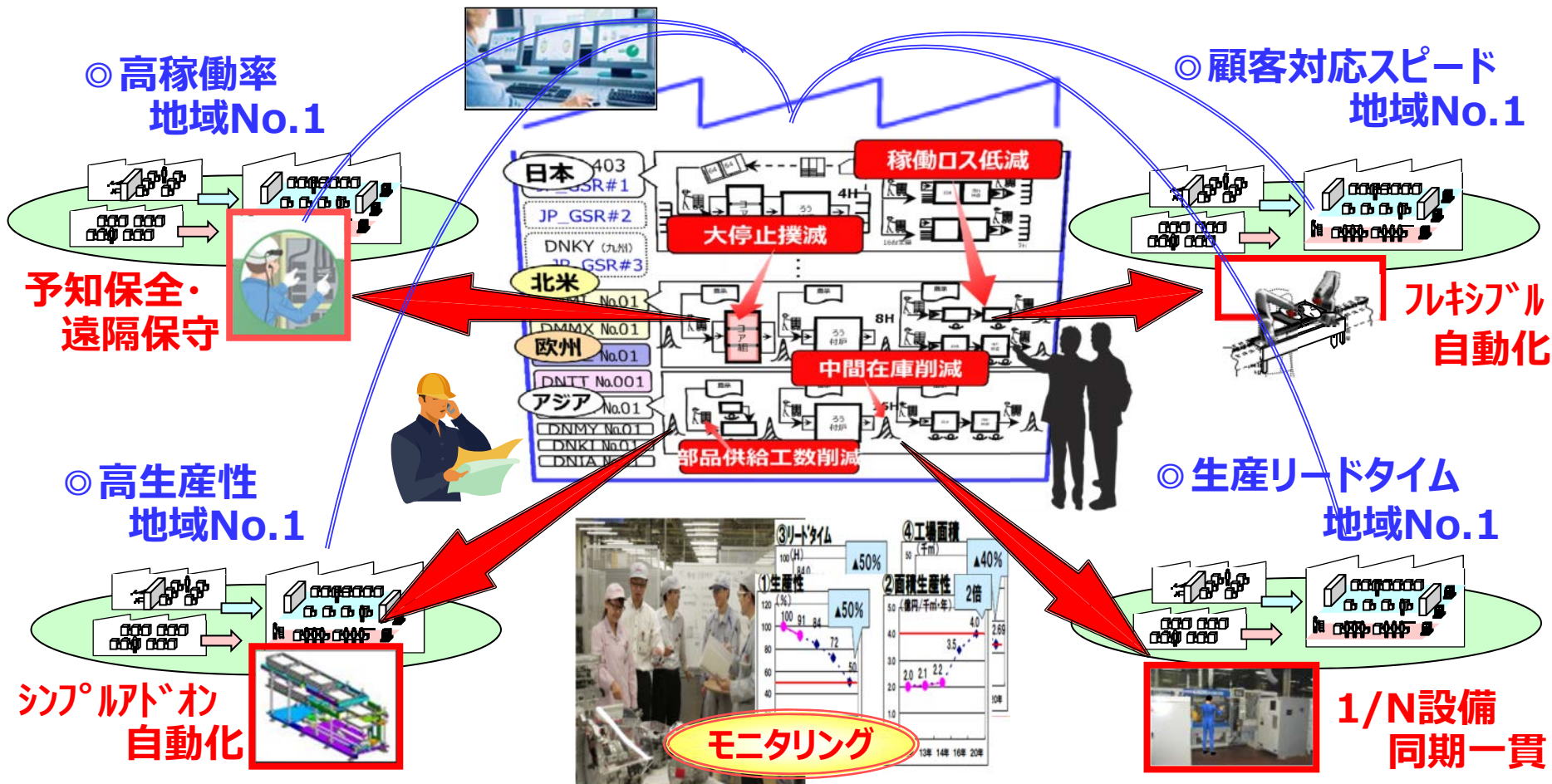
地域	日本	北米	欧州	豪亜	中国	インド	南米
コアテクニカルセンター(T/C)	本社	ミシガン	ドイツ	タイ	上海	デリー	ブラジル
サテライト拠点	国内G会社 韓国	テネシー, カリフォルニア	イギリス,イタリア, スウェーデン	ハノイ,フィリピン, オーストラリア	北京,西安, 台湾	—	—



クルマの価値を最大化する商品を開発し、世界の市場で普及に貢献

2-(3). 注力する事業 – 海外市場 –

グローバルでのダントツ工場づくり（世界の工場を一つに）



地域No.1のダントツなモノづくりを通じてコスト競争力を強化

地球と生命を守り、
次世代に明るい未来を届けたい。



地球環境の維持

安心・安全

にこだわり、今後10年の私達の使命として取り組む

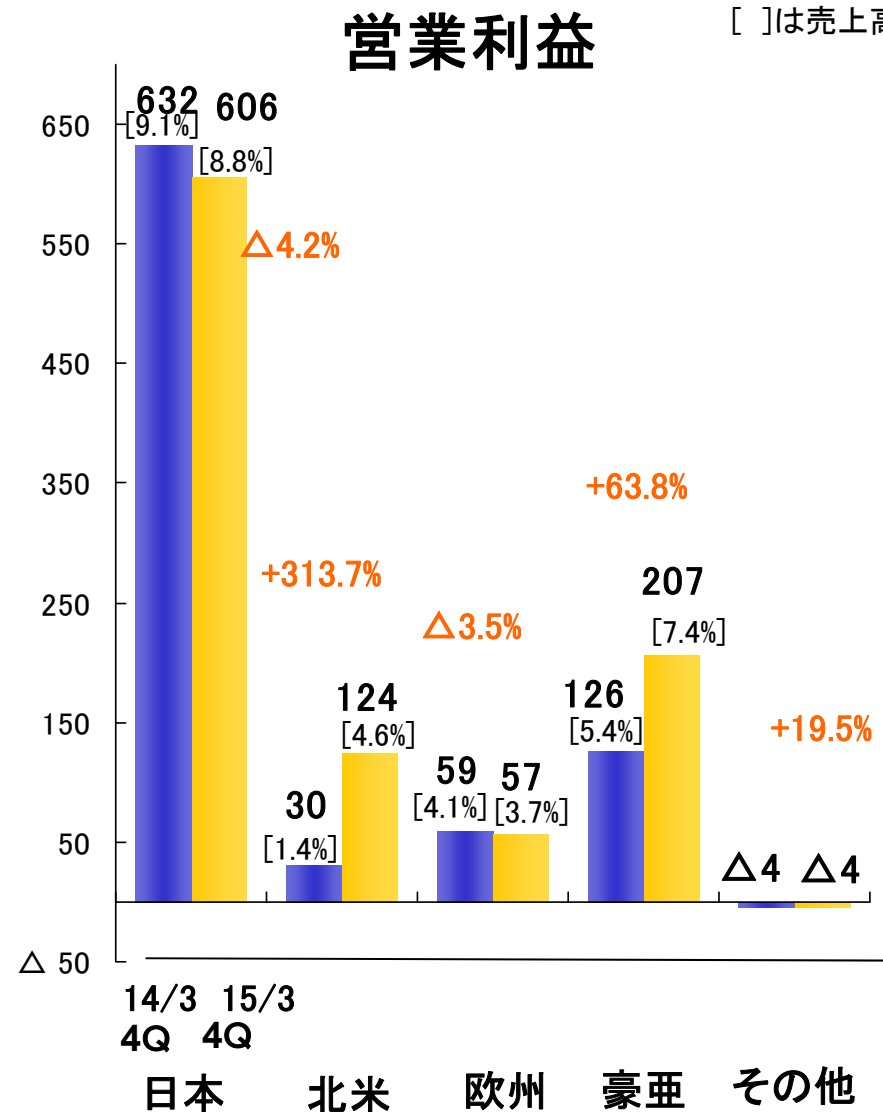
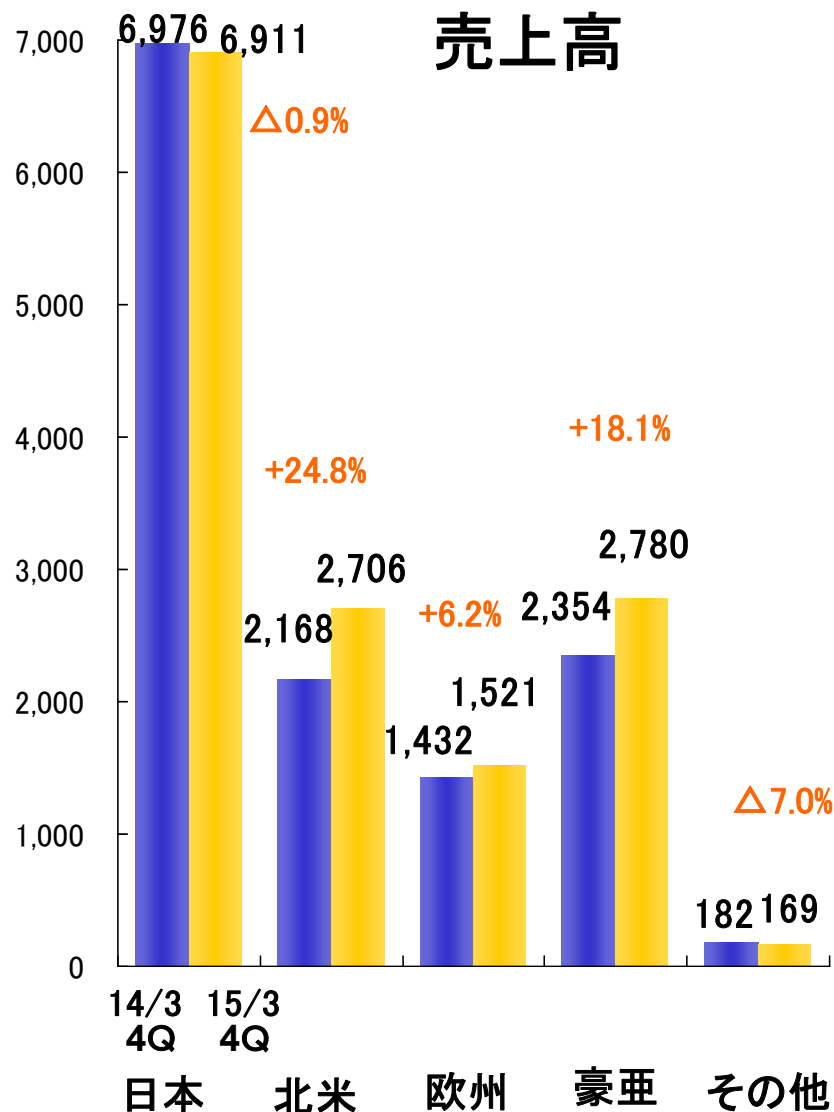
DENSO

- 2015年3月期 第4四半期(3ヶ月)
所在地別セグメント情報(前年比)
- 単独決算概要
- 前提となる為替レート／車両生産台数
- 得意先別売上
- 製品別売上
- 設備投資・償却費・研究開発費

円貨ベース

【単位：億円】

[]は売上高比

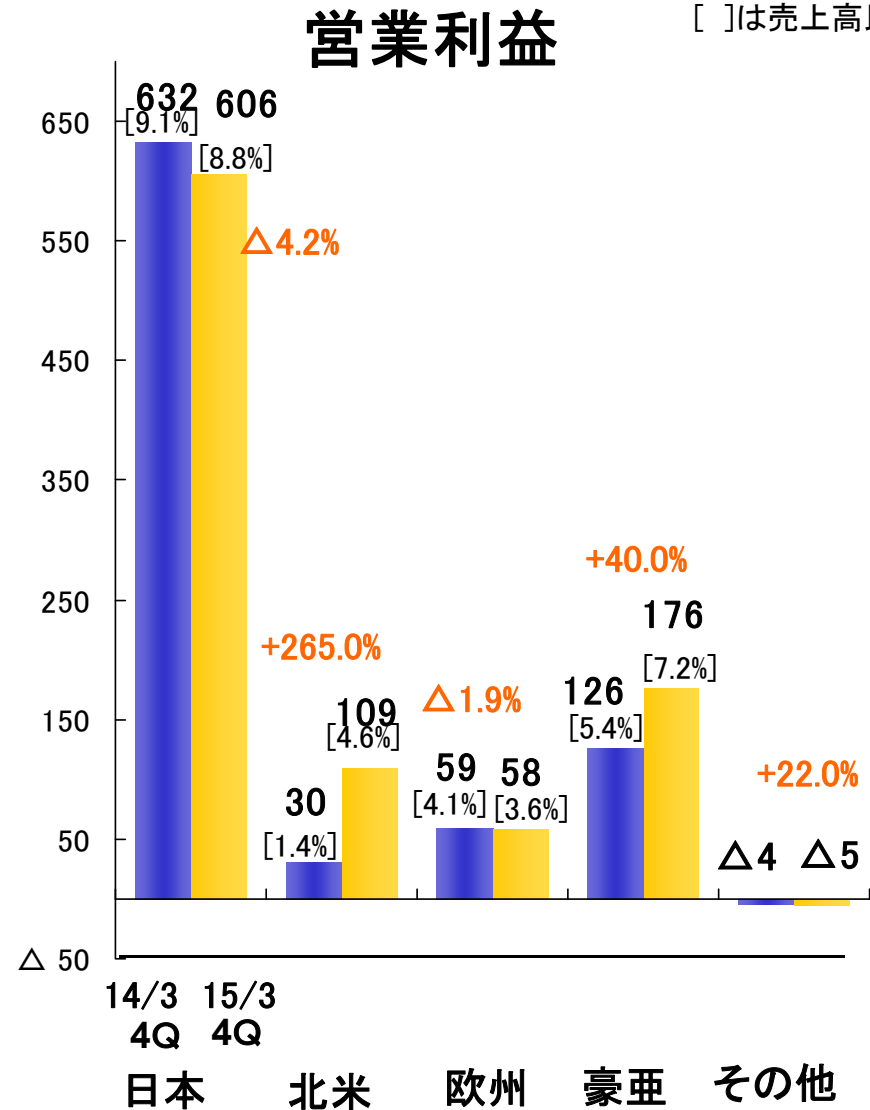
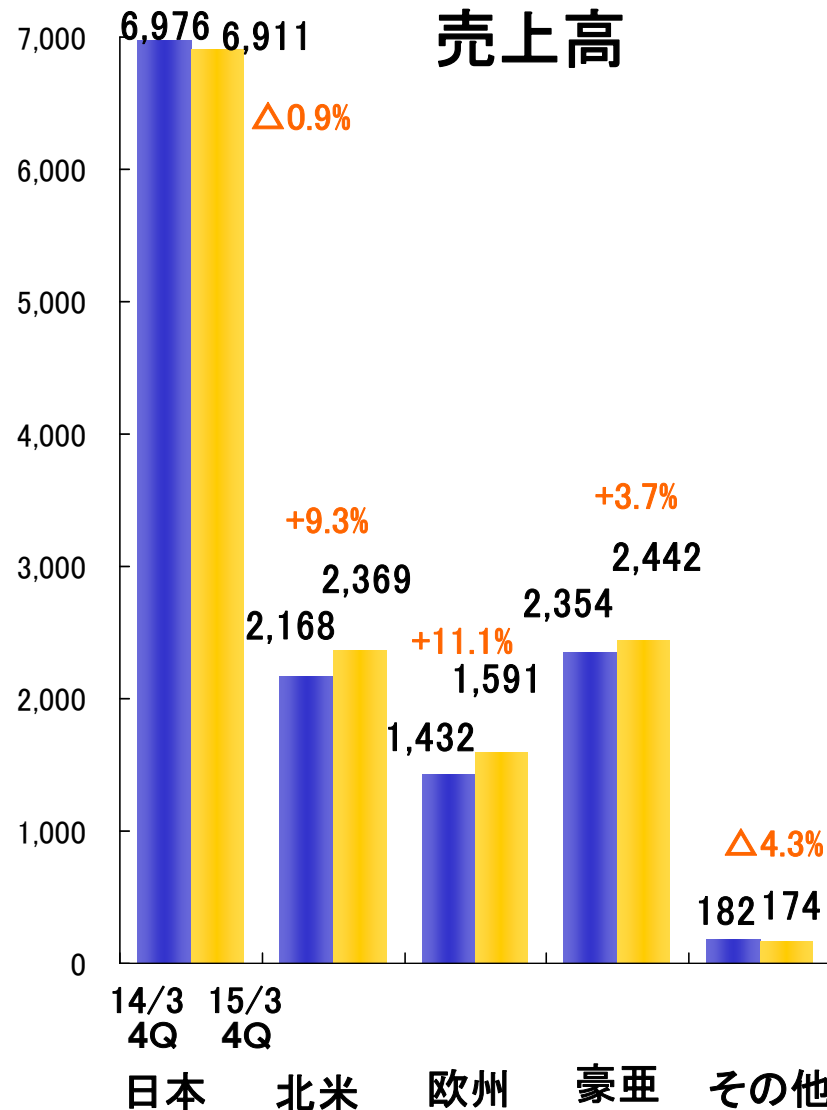


2015年3月期 第4四半期(3ヶ月) 所在地別セグメント情報(前年比) 33

為替の影響を除いた現地通貨ベース

【単位：億円】

[]は売上高比



損益計算書

()内は売上高比

【単位:億円, %】

科 目	15/3期実績	14/3期実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	(100.0) 24,372	(100.0) 24,908	△ 536	△ 2.2
売上原価	(86.2) 21,007	(84.7) 21,102	△ 96	
販売費及び一般管理費	(6.9) 1,670	(6.3) 1,572	98	
営業利益	(7.0) 1,695	(9.0) 2,233	△ 538	△ 24.1
営業外収支	699	760	△ 61	
経常利益	(9.8) 2,394	(12.0) 2,993	△ 599	△ 20.0
特別損益	278	△ 32	310	
税引前当期純利益	(11.0) 2,672	(11.9) 2,961	△ 289	△ 9.7
当期純利益	(8.1) 1,982	(8.8) 2,197	△ 215	△ 9.8

前提となる為替レート／車両生産台数

		15/3通期									16/3通期	
		上期			下期			15/3通期			16/3通期	
		前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	予想	前年比
為替レート (円)	USD	99	103	4.2円 円安	102	117	15.2円 円安	100	110	9.7円 円安	115	5円 円安
	EUR	130	139	8.9円 円安	139	139	0.1円 円高	134	139	4.4円 円安	125	14円 円高
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD							28	25	-3	25	-
	EUR							8	7	△ 1	7	-
日系車両生産 台数 (万台)	国内	453	459	+1%	496	463	△ 7%	949	921	△ 3%	909	△ 1%
	北米	266	299	+13%	277	302	+9%	543	600	+11%	637	+6%
	海外日系車	869	913	+5%	900	921	+2%	1,770	1,834	+4%	1,904	+4%

【単位:億円, %】

区 分	15/3期 実績(累計)		14/3期 実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ト ヨ タ	18,465	42.9	18,286	44.6	178	1.0
ダ イ ハ ツ	1,056	2.5	1,143	2.8	△ 88	△ 7.7
日 野 自 動 車	550	1.3	528	1.3	22	4.2
トヨタグループ計	20,071	46.7	19,958	48.7	113	0.6
本 田 技 研	3,116	7.2	2,854	7.0	262	9.2
現 代 ・ 起 亜	1,407	3.3	1,142	2.8	265	23.2
G M	1,299	3.0	1,184	2.9	116	9.8
ク ラ イ ス ラ ー	1,174	2.7	893	2.2	281	31.4
ス ズ キ	1,081	2.5	1,000	2.4	81	8.1
マ ツ ダ	1,054	2.4	869	2.1	184	21.2
フ ォ ー ド	1,037	2.4	961	2.4	75	7.8
フ ィ ア ッ ト	904	2.1	843	2.1	61	7.2
V W ・ A U D I	858	2.0	757	1.8	101	13.4
富 士 重 工	747	1.7	709	1.7	39	5.4
日 産 自 動 車	573	1.3	515	1.3	57	11.2
い す ゞ	515	1.2	545	1.3	△ 30	△ 5.5
三 菱 自 動 車	514	1.2	490	1.2	24	4.8
B M W	410	1.0	338	0.8	72	21.3
ベ ン ツ	345	0.8	317	0.8	28	9.0
ジャガー・ランドローバー	218	0.5	160	0.4	58	36.3
P S A	209	0.5	218	0.5	△ 10	△ 4.6
そ の 他 メ ー カ ー	2,756	6.4	2,651	6.5	105	4.0
O E M 計	38,287	88.9	36,404	88.9	1,883	5.2
※ 市 販 ・ 新 事 業 他	4,800	11.1	4,555	11.1	245	5.4
合 計	43,088	100.0	40,959	100.0	2,128	5.2

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

【単位：億円，%】

区 分	15/3期 実績(累計)		14/3期 実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハ ° ワ ト レ イ ン	15,290	35.5	14,334	35.0	956	6.7
熱	12,295	28.5	11,409	27.8	886	7.8
情 報 安 全	6,266	14.5	6,286	15.3	△ 20	△ 0.3
電 子	3,732	8.7	3,828	9.4	△ 96	△ 2.5
モ - タ	3,023	7.0	2,867	7.0	156	5.4
空 調 冷 熱	1,143	2.7	1,047	2.6	96	9.2
そ の 他 ※	676	1.6	575	1.4	101	17.6
自 動 車 分 野 計	42,425	98.5	40,345	98.5	2,080	5.2
産 業 ・ 生 活 関 連 機 器	517	1.2	458	1.1	59	12.9
そ の 他	145	0.3	156	0.4	△ 11	△ 7.1
新 事 業 分 野 計	662	1.5	614	1.5	48	7.8
合 計	43,088	100.0	40,959	100.0	2,128	5.2

※ 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

【単位:億円】

		14/3期 実績	15/3期 実績	増減率	16/3期 予想	増減率
設備投資	日本	1,560	1,891	21.2%	1,830	▲3.2%
	北米	433	485	12.0%	450	▲7.2%
	欧州	279	302	8.2%	280	▲7.3%
	豪亜	886	838	▲5.4%	760	▲9.3%
	その他	83	44	▲47.0%	30	▲31.8%
	合計	3,241	3,561	9.9%	3,350	▲5.9%
償却費	日本	1,309	1,446	10.5%	1,478	2.2%
	北米	188	234	24.5%	290	23.9%
	欧州	143	163	14.0%	185	13.5%
	豪亜	302	428	41.7%	480	12.1%
	その他	30	36	20.0%	37	2.8%
	合計	1,972	2,307	17.0%	2,470	7.1%
研究開発費 (売上高比)	3,687 (9.0%)	3,964 (9.2%)	7.5%	4,000 (8.9%)	0.9%	